

受領No. 1649

脳波等の計測による感情認識技術と障害者等の内心の自由

代表研究者 畑中 綾子（尚美学園大学 准教授）

共同研究者 土屋 裕子（立教大学法学部 兼任講師）

Emotional recognition technology using brainwave measurements and the freedom of the inner thoughts of people with disabilities, etc.

Representative Ryoko Hatanaka (Associate Professor, Shobi University)

Collaborator Yuko Tsuchiya (Lecturer, Rikkyo University)



研究概要

病気や障害により発話や表現が困難となった人に対し脳波信号を直接、ロボットアームに連結させてモノを動かしたり、言語入力を試みる研究が進められている。また、脳波等の測定技術の精度が高まることにより、発話や意識の表出が困難な人の意思や感情を読み取り、モニターに表示することでコミュニケーションを支援するツールの実証実験も開始されている。これら技術にはコミュニケーション手段としてはもちろん、障害者の学びや就業に結び付くことも期待される。一方で、脳内の発想や思考がPC画面等に映し出されることによって、対象者の内心の自由を侵害するおそれがある。脳波計測等の技術の精度が上がることにより、ある人の内心が外部モニターに表出され、対象者にとって知られたくないことについて暴露される可能性がある。また、表出の困難な障害者については外部に示された感情らしきものと本心との一致について確認できず本心との不一致、誤解を生む可能性もある。本研究では人間の脳波技術の可能性と期待を観察する一方で、内心の自由やプライバシー権の侵害という負の面にも焦点をあて、国内外の議論について調査を行う。